

『憎しみ』 作：ポチ子

『憎しみ』 作…ポチ子

人の思いやりよりも、

他人の憎しみを感じる。

世の中は、悪意の方が多い。

でも、それは私の勘違いらしい。

あなたの周りは、

あなたが見つけれられていないだけで、

優しさで溢れているの。

そちらに目を向けなさい。

そんな本を読みながら、

『憎しみ』 作：ポチ子

笑顔で手を広げる人の幻覚が見えた。

その人は私に言うのだ。

憎しみばかりに目を向けるお前が悪い。

お前は罪深い人間だと。

悪意に目を向けてはいけなとしたら、

悪意をぶつけてきたあいつは、

何の罪に問われないんだろうか。

確かにそいつに、

傷つけられた私がいるのに、

それは私が悪くて、

罪に問おうとすることさえも愚かなのか。

誰も何もしないから、

あいつは今日も、憎しみを振りまいている。

それが正しいことだって、

あなたは、そう言うのか。